



### 周術期口腔機能管理 NO.1 いざ手術！の前にどうして歯科受診なの？ ～周術期における口腔ケアとは～

周術期口腔機能管理とは、がんなどの治療のために手術や化学療法等で入院する前後期間に口腔状態を良好に保つことは、誤嚥性肺炎の予防や口腔機能維持に役立ち良好な治療効果を得る為にとっても重要なことです。この期間におけるお口の状況、環境の変化によって引き起こされる合併症の予防、緩和とトラブルを防止し良好な口腔状態を適切に管理することです。

これから手術です。こんなお口の中、どう思いますか？



・歯垢1g中細菌数100億個、口腔内細菌数4000億個とされています。

#### ①手術時の危険

全身麻酔では、呼吸のためのチューブを入れる時に歯を損傷することがあります。差し歯やぐらついている歯は抜け落ちる可能性が高く、保険外のセラミックのかぶせも破損することがあります。抜けた歯や破損したかぶせを誤って飲みこまないために、手術用マウスピースを作製することもあります。歯の動揺が著しい場合は、抜歯が必要になることもあります。



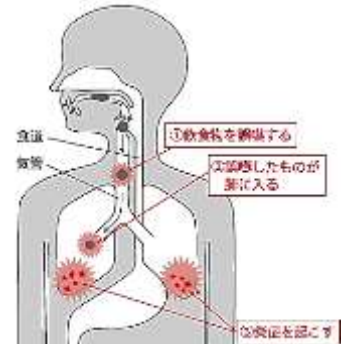
呼吸のためのチューブ



手術用マウスピース

#### ②口腔に関する周術期の合併症

全身麻酔の手術を受けると身体の抵抗力が落ちやすく、合併症を発症しやすくなると言われています。口の中には多くの細菌が存在していて、それが肺や血液の中に入る事で肺炎や感染などの重篤な合併症につながります。手術前に十分な口腔ケアを行い、清潔な状態に整えておくことが大切です。口の中の衛生状態が悪いと口の細菌が気管の中に押し込まれて、肺炎等の原因になる可能性があります。



#### 口腔に関する周術期の合併症

- ・術後肺炎・感染性心内膜炎・挿管時の歯の損傷・創部感染・放射線性顎骨髄炎
- ・口腔粘膜炎・菌性感染症(蜂窩織炎、菌血症→敗血症)・薬剤関連顎骨壊死(BP 製剤等)

#### 当科での取り組み

- 手術前**
- 口腔内の評価 (むし歯や歯周病の状態)
  - 動揺歯の確認
  - ブラッシング指導
  - 歯石除去
  - 義歯の洗浄方法
  - 専門的歯面清掃

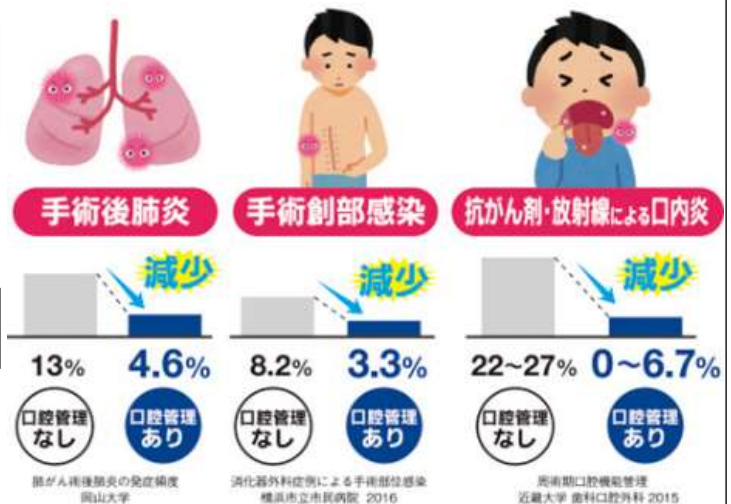


術前  
汚れがべったり



歯石除去  
歯面清掃後

- 手術後**
- 口腔状態の確認
  - 専門的歯面清掃



★安全に手術を迎えてもらう

★口腔内の細菌数を減らす⇒術後肺炎、感染症の予防

当院では、全身麻酔手術を行う患者様は、手術時におこるお口のトラブルを予防し、治療が円滑にすすむよう手術前後に歯科受診をしていただきます。